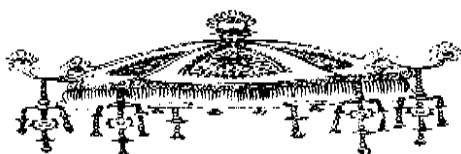


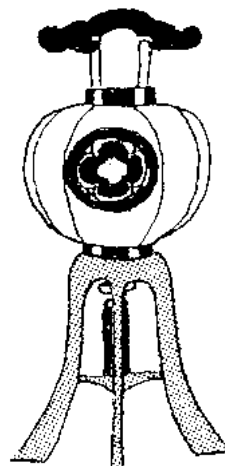
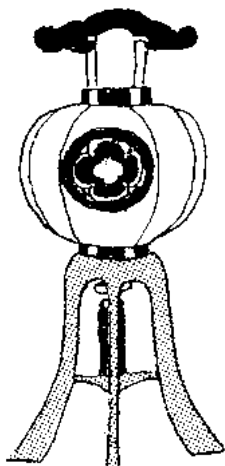
# 寶林精舎

《題字・森神紫陽》



## 平成17年初盆のお家

喪主	続柄	故人名	命日	享年(数え年)	地区名
深田 喜久子	夫	和美	16年7月7日	74歳	上直見・川又
竹田 金作	母	ケサ子	7月31日	93歳	上直見・神の原
山内 一平	父	林作	8月16日	94歳	赤木・吹原
柳井 昌之	父	義則	8月18日	72歳	赤木・長野
竇戸 展	父	政喜	11月20日	90歳	仁田原・岸の上
立箱 貞夫	妻	恵美子	11月28日	43歳	赤木・神内
平井 均和	母	真理子	11月29日	91歳	赤木・神内
岩崎 正人	母	フジ	17年1月30日	95歳	弥生・小田
工藤 信幸	母	梅子	2月6日	94歳	仁田原・下城
古矢 長生	父	廣志	2月21日	86歳	仁田原・上の地
鳴海 君子	夫	弘	3月20日	76歳	蒲江・尾浦
佐藤 和久	母	紀美子	4月1日	64歳	大分市・小野鶴
佐竹 正光	母	ヨシカ	4月4日	98歳	上直見・新中
御手洗 治信	父	登	5月4日	76歳	仁田原・細川内
長田 小太郎	母	蘭子	5月11日	76歳	仁田原・細川内
立箱 功	姉	キクヨ	6月19日	78歳	赤木・立箱



## 第41号

正定寺花園会広報

平成17年夏発行 発行所 一部単価135円(非売品)

〒879-3104 大分県佐伯市直川大字仁田原 寶林山正定寺内

TEL 0972 (58) 2190 FAX 0972 (58) 2192

URL <http://www.saiki.tv/~shoji> e-mail [shoji@saiki.tv](mailto:shoji@saiki.tv)

住職 寿山士朗 閑栖 豊嶽義弘

〈家族みんなで読みましょう〉

# ☆平成17年 お盆参りの日程☆

昨年とは日程や地区順が違います。お確かめください。  
 始まりと終わりの時間は昨年を参照にしています。だいたいの目安にしてください。

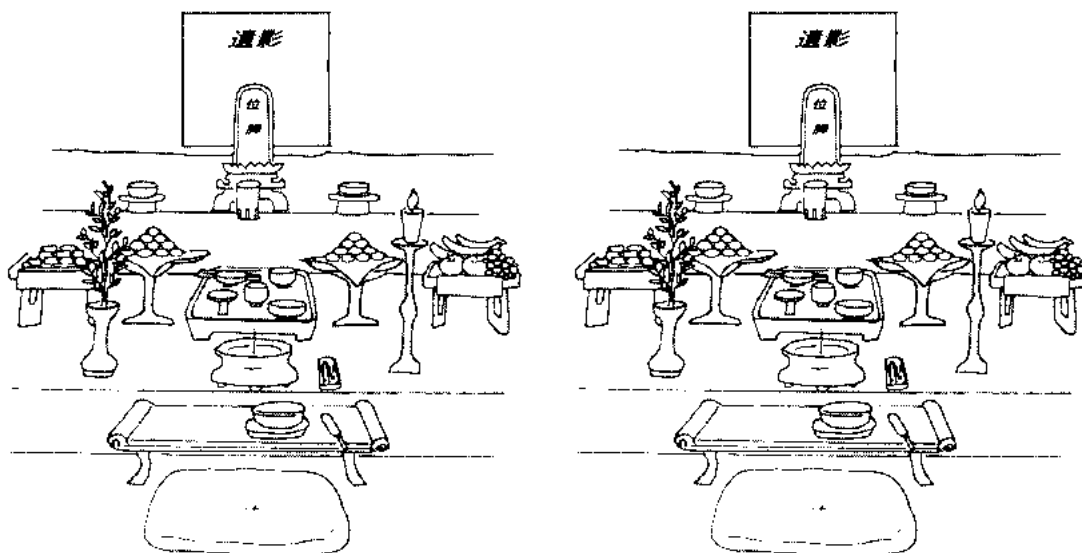
期 日	日 柄	午 前 ~ 正 午	正 午 ~ 夕 方
8月1日 (月曜日)	盆入り・路作 り盆 友 引	9時頃から午後2時頃まで 中津留(赤木)⇒立長	
8月2日 (火曜日)	塚 日	9時頃から午後2時頃まで 岸の上⇒天津留⇒下城	
8月3日 (水曜日)		9時30分頃から午後2時30分頃まで 椈ヶ原⇒杭の内⇒内水	
8月4日 (木曜日)		9時30分頃から午後2時頃まで 大久保⇒萱垣⇒大鶴	
8月5日 (金曜日)	煤掃き盆	9時頃から午後1時頃まで 栗林⇒向船場⇒園	午後2時頃から午後6時頃まで 学校下⇒神内⇒野の内
8月6日 (土曜日)	友 引	9時頃から午後2時頃まで 市屋敷⇒堂師	午後3時頃から午後7時30分頃 まで 間庭⇒江河内
8月7日 (日曜日)	池替盆(井戸・ 墓掃除)・立秋	9時頃から午後1時頃まで 新中⇒久留須	午後3時頃から午後6時30分頃 まで 佐伯A地区
8月8日 (月曜日)		9時頃から午後2時頃まで 細川内⇒吹原⇒道の内	午後3時頃から午後6時頃まで 水口・間⇒弥生
8月9日 (火曜日)		9時頃から午後2時頃まで 黒岩⇒横川⇒羽木蟻⇒中津留	午後3時頃から午後5時頃まで 神の原⇒川又
8月10日 (水曜日)		9時30分頃から午後2時頃まで 宇目町⇒延岡市⇒日向市	
8月11日 (木曜日)	花取り盆	9時30分頃から午後5時30分頃まで 上の地⇒柚の原⇒竹の下	
8月12日 (金曜日)	友 引	9時30分頃から午後7時頃まで 佐伯B地区	
8月13日 (土曜日)	精霊迎え盆	10時頃から午後3時頃まで 畑の浦⇒尾浦⇒鶴見⇒木立	午後5時頃から午後 8時頃まで 別府市
8月14日 (日曜日)	盂 蘭 盆	9時30分頃から午後7時30分頃まで 大分市⇒臼杵	
8月15日 (月曜日)	盂 蘭 盆 精霊流し	10時頃から午後2時頃まで初盆各家 (前ページ参照)	
8月16日 (火曜日)	精霊送り盆	15日までにお参り出来なかった各檀家	

※葬儀や天候の都合で日程を延ばす場合は、地区世話人様にご連絡致します。  
 雨天の場合は、座敷に上がらず、草鞋・合羽でお参り致します。(軒先でのお勤めを致します。)  
 台風などの延期に伴い14日の地区が16日以降に成ることがあります。  
 又、留守の家は外からお経を上げさせて頂きます。8月1日から16日まで本堂での葬儀ができません。

この期間に該当する  
 初盆の家は、この日  
 にお参り致します。

ている。』檀家さんで聞いた新盆参りでの話です。亡き人の姿形は見えなくても、見える心を育てたいものです。

ている。』檀家さんで聞いた新盆参りでの話です。亡き人の姿形は見えなくても、見える心を育てたいものです。



《正定寺花園会役員名簿》

花園会会長(檀徒総代)	柳井道則
花園会役員(檀徒総代)	小野永生
花園会役員(檀徒総代)	柳井孝義
花園会会計・庶務	村西栄二
花園会女性部部長	矢野侃可
花園会女性部副部長	竹下好子
花園会女性部副部長	安藤リヨ子
花園会女性部会計・庶務	川野久美子
花園会青壮年部長	小田木聖孝
《正定寺花園会地区世話人名簿》	
内水地区 戸高 忠	栳杭地区 御手洗豊喜
岸の上地区 櫻井 米士	上の地区 小野 泰雄
細川内地区 御手洗晴規	柚の原地区 鉄山 昌美
黒岩地区 川股 憲明	大鶴地区 下川 雅秀
羽木蟻地区 大竹 昭二	横川地区 大原 昇
神の原地区 足立 米寿	神栗地区 甲斐 一男
市屋敷地区 安藤 智公	堂師地区 廣瀬 豊喜
野の内地区 後藤 保代	立長地区 廣瀬伊久生
中道地区 安藤 鉄也	吹原地区 宮下 与
久留須地区 渡辺 淳一	閨庭・中津留地区 水久保光夫
竹園地区 佐竹 伸幸	尾浦地区 仲宮 哲男
江河内地区 吉田 勇	尾浦地区 富高 和夫
花園会会計監査委員	佐竹 伸幸
花園会会計監査委員	小野 泰雄
花園会女性部会計監査委員	久保田 清江
花園会女性部会計監査委員	小野 明美

〈家族みんなで読みましょう〉

## 《檀信徒先祖位牌堂修理のお願い》 正定寺檀信徒の皆様へ

六月十八日に行われました「平成十七年度世話人総会」で位牌堂修理の概要と見積もりを各地区世話人様よりご検討を賜りました。檀信徒の中には、位牌堂に安置されている各ご先祖様の過去帳位牌についてや、位牌堂の成り立ちなど詳しいことを世代の移り変わりで知らないまま、現在に至っている方もおられると思いますのでご説明させていただきます。

正定寺の位牌堂は江戸時代より各檀信徒の位牌がおまつりされてきました。当時は現在のように統一された位牌ではなく、篤志者・大檀家など特定の檀家に限っておまつりされてきました。

昭和四十八年に本堂の裏に回廊で建っていた位牌堂の老朽化にともない、新たに現在の場所に建立されました。三十二年前の住職・総代が新位牌堂の建立に際して、貧富・篤志による位牌の格差をなくし、全ての檀信徒が平等におまつりされる位牌の安置を念願として建立しました。

安置された各家の位牌は過去帳位牌になっていて、それぞれ亡き父・亡き母が書き記したご先祖さまの戒名がしるされています。中には、戒名だけではなく、両親への報恩の情がしるされているものもあります。

世話人総会・女性部総会でお話をさせていただいた時にも、多くの方がその位牌の意味や亡き家族が直筆で残したものを初めて知り、位牌堂の大切さや統一された位牌の意味をあらためて感じる機会となりました。



お祀りされている各家の位牌



位牌の中にある過去帳に書かれたご先祖の戒名

尚、檀信徒の中には、位牌堂に位牌がない方もあります。これは昭和四十八年から平成十年頃までに新檀家になったお家です。位牌がない方は、直接「菊池仏壇（佐伯市仲町・〇二二〇―三九一〇三五）」にて個人でお求め下さい。

### 【概要】

屋根工事(ステンカラートタン)・外部壁板(杉材)・天井(ビニールクロス)・床(杉補修材)

【見積もり予算】5,190,000円  
(一戸あたりの負担金17,500円)



位牌堂

りました。  
現在、位牌の総安置数は三七七家。地区世話人様からお話があると思いますが、先師の尊い発願にご理解を賜り、  
ご先祖のご供養を深めていただきたいと切にお願い申し上げます。又、村外の檀信徒の皆様には、後ほど趣意書・振込用紙にてお願い申し上げます予定です。

## 〈廣じいちゃんが死んだ〉

「ヒロじいちゃんが死んだ、私たちの大好きだったヒロじいちゃんが死んだ。」それは2月21日の朝のことだった。

前の晩、病院で付き添っていたお父さんから一本の電話がかかった。『じいちゃんが急変した、大至急病院へ来い。』

病院へ向かう車の中、ポツリと崇敬が言った。『じいちゃん死ぬん。』私は何も答えることが出来なかった。

病院に着き急いで病室へ入ると、『ハァーハァー』と苦しげに肩で息をしているじいちゃんの姿が目飛び込んできた。私はじいちゃんの手を握り、背中をさすった。『大丈夫、頑張てな。』と声をかけると息をするのもやっとなのに『ありがとな、沙和も高校に合格するよう頑張て勉強しいよ。』私は涙があふれ『うん』とうなずくのが精一杯だった。私はいつもの『沙和、よってきたのうー』と少し照れくさそうに話す優しいじいちゃん笑顔が大好きだった。

そして翌朝五時過ぎ再び電話がなった。ヒロじいちゃんとの思いでは、いっぱいありすぎて書ききれませんが、ひとつだけ書くとすればやっぱり最後の会話となった最後の約束。『沙和、高校に合格しいよ』『うん…』私は今もこの言葉のやりとりを忘れていません。「絶対に希望の高校に合格して笑顔でじいちゃんに報告してやる。」と思っています。じいちゃん



ヒロじいちゃんの時退院

ちゃんがあきらめずに最後まで病気に闘ったように、私も今高校受験に向かって、勉強と戦っています。

じいちゃんは病気に負けて天国に行ったけど、私は受験に勝って希望校に笑顔で行きたい。

だから天国にいるじいちゃん、私を見守ってください。そしてじいちゃんお盆には、誰よりも早く家に帰ってきてね。みんな待ってるからね。

古矢廣志から「玄黙院春月廣照居士」へ名前がかわったね。和尚さんが言ってたよ。意味は【春の月のように黙って静かに明るく照らしてくれる。】という意味が込められているらしいよ。

じいちゃん、これからわたしたちを静かに明るく照らして見守ってくださいね。改めて85年間おつかれ様でした。そしてたくさんの思い出をありがとうございました。じいちゃん孝行が、あまりできなくて、ごめんね…やすらかに…。

うんださわ しょうじ たかひろ  
植田沙和・祥嗣・崇敬より。 合掌。



〈家族みんなで読みましょう〉

# 献茶会

六月十九日(日)午後二時から  
八十名の参拝者のもと、ご本山  
様・ご先祖様へ、檀信徒から奉  
納された新茶をお供えいたしま  
した。



女性部総会



献茶供養



新茶をお供えする参拝者

## 水仙花

直川大字赤木 山内麻緒

秘密の場所の様に木々の下に咲く水仙。この  
一時の命しか持たぬ花畑は、ひいじいちゃん  
が咲かせたものだった。

「綺麗じゃろう見に来んか?」

そう言われた人は、いそいそとこの展覧会擬  
きへ出向き、白・濃黄色の花を愛でていく。幼  
い頃キラリだったひいじいちゃんを、好きにな  
れる瞬間だった。なぜキラリだったのかは、も  
うあまり覚えていない。ただ一つ、先端に数花  
付いただけの小さな植物を、あのひいじいちゃ  
んが必死で守り慈しむ姿に違和感を感じてい  
た。幼い私から見ると、その頃のじいちゃんは  
大きく怖い存在でしかなかったのだろう。

細く繊細な、まるで女の子の様な体に、水を  
滑らせる楽しさ、言い様の無い「花だけの域」  
を発する神秘的な香りが大好きで、この花畑は  
いつまでも「ここ」に有るものと考えていた。  
いや考えもしなかった。そして、それはひいじ  
いちゃんも同じだ。幼い頃とは逆で随分小さく  
見え、昔叩いていた頭も、大好きになったのに。

病院に御見舞いに行くのと泣いてくれるじいちゃ  
んの孫で良かったと思えたのに。あの人は、私  
の見ていない所で、はらりと花を舞わせてしま  
った。ひらひらと、唯ふらりと浮いている様に  
見えても、重力と言う力、死と言う力に強く引  
き寄せられてしまったのだ。風が吹かない限り  
浮かず、浮いてもいずれば落ちて行く。塩分を  
含んだ水が頬を伝う。たくさんの方が流して行  
く。この養分もならぬ水を枯れた花へと降ら  
せていくのだ。きれいに咲いた証として。生き

た意味として。最後の儀式として。

仕方の無いことではあるし、誰もが通る道だ  
と言う。しかし私は受け止められなかった。受  
け止められず、月日がたつて行った。そしてあ  
る日、私は気づいた。ひいじいちゃんの姿に霧  
が掛かった様になっているのだ。これまで「い  
つも」使っていた、サイダーに似た泡立つ液に  
入った入れ歯。鍍と時間と刻まれた銀時計。今  
は「生きてた頃に使ってた」と言う言葉に刷り  
かわっていた。思えば、ひいじいちゃんの時間  
の流れはゆったりしていて、そこだけ穏やかな  
空間だった。考え方によっては、ひいじいちゃ  
んと水仙は似た者同士かもしれない。細くて小  
さい花では有るが、どこか凛として、私の居所  
でもあった。一つの扉を開けると安心できる場  
所も、今開けると、しんとしている事が多数、  
無意識のうちにそこへ行きうろろしているこ  
とも多数有る。水仙があつた時の潤いは乾涸び、  
木々も消え今は乾きしか無いけれど、死につい  
て考え、新たな形の貴方に近づいたのだ。

これからもずっととずっと花を咲かせない水  
仙。雨の雫が流れることは二度とない。でも今  
もたくさん花を咲かせている。酔い痴れる一時  
をありがとう。栄光とともに空の上へといっ  
てらっしゃい。



<家族みんなで見ましょう>



大般若法要



大般若法要

一月二十日、恒例の大般若  
会が二五〇名の参拝者のもと  
盛大に行われました。

# 大般若会



大般若法要



1等の28型テレビが当たった  
「城南町の渡辺邦子さん」



楽しみな「くじ引き」

## 春彼岸会

3月24日、ご本山布教師・足立宜了師を迎え、50名の参拝者のもと、お法要・説教が行われました。

布教師さまに柳井道則総代が「お言葉を生かしながら日々の生活に努めて行きます。」と謝辞を述べ、参拝者はお接待を頂き春彼岸のご供養を賜りました。



足立宜了和尚様

## 秋彼岸会

### 9月22日は 山門大施餓鬼会

五色の幡が本堂に飾られ、独特なお経声で行われる山門大施餓鬼会。

年に一度のこの法要は、皆さまから届けられたご先祖さまの戒名が厳かな法要の中で一霊一霊お唱えされます。

日頃は忙しくてなかなかお寺にお参り出来ない方々も、是非都合を付けてご家族連れでお参り下さい。

9月になりましたら、花園会女性部がご案内致します。



お説教聞く参拝者

〈家族みんなで読みましょう〉